

【BMS 専攻シラバス】

授業科目名	薬物治療学特論			授業形式	講義	
配当年次	修士 1 年次	単位数	2 単位	選択・必修	選択必修	
コーディネータ	矢野	曜日・時限	金曜日 18 時～21:時			
担当分野名	生化学・分子生物学系 薬物動態学					
担当教員名	古屋敷、矢野、中川 他					
学習到達目標	薬物治療の分子メカニズム、薬物の分子設計およびゲノムとの関係、薬物投与設計、医薬品の開発など、基礎研究の成果を臨床の薬物治療に生かす方法論や実例について学ぶ					
授業の概要		日付	時間	場所	演習内容	担当者
	1)	5/12 (金)	18:00～ 21:00	第2講堂	医薬品開発及び個別化治療におけるファーマコメトリクス の活用/確認テスト	矢野
	2)	5/19 (金)	18:00～ 21:00	第2講堂	精神疾患創薬を目指した基礎薬理学研究/ 確認テスト	古屋敷
	3)	5/26 (金)	18:00～ 21:00	第2講堂	糖鎖合成異常による疾患と治療/ 確認テスト	北川
	4)	6/2 (金)	18:00～ 21:00	第2講堂	薬物動態学的相互作用について /確認テスト	岩川
	5)	6/9 (金)	18:00～ 21:00	第2講堂	分子標的薬を知る/ 確認テスト	松本
	6)	6/23 (金)	18:00～ 21:00	第2講堂	がん化学療法時の薬物体内動態とバイオメタル情報について/ 確認テスト	中村
	7)	6/30 (金)	18:00～ 21:00	第2講堂	薬物の動態制御による薬物治療の最適化: Drug Delivery System (DDS)/ 確認テスト	坂根
	8)	7/7 (金)	18:00～ 21:00	第2講堂	脂質合成の分子メカニズムと脂質異常症治療薬/ 確認テスト	中川
	9)					
10)						
履修上の注意 (準備学習・復習、関連科目情報等を含む)	疾病原因の基礎と治療薬の実際をテーマにした講義を行い、学生が将来医薬系や食品関連企業に進む場合を想定して薬物治療の基礎的知識を講義する。講義のハンドアウトを作成し、自習の資料とする。準備学習・復習については授業中に追って指示する。					
参考書	配付資料中心であるが、その他については各担当教員の指示による。					
成績評価方法と基準	講義への出席状況およびレポート提出により総合的に評価し、評価が60点以上となったものを合格とする。講義の内容を十分に理解して知識を取得し、意欲的に講義に参加したと判断できる場合を“優”，その中でもさらに優れたものについては“秀”，講義の内容を十分に理解している者は“良”，講義内容について最低限の基礎知識は習得したと判断される場合を“可”とする。					
備考	(メールアドレス) midorih@med.kobe-u.ac.jp (オフィスアワー) 月曜 17 時～20 時					